

I 研究の概要

調査研究課題

幼児が地域社会に親しみ愛着をもつことを目指して ～幼稚園における学校運営協議会を核とした地域との連携を通して～

1 主題設定の理由

平成27年度に示された「教育課程企画特別部会論点整理」（中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会）では「社会に開かれた教育課程」が提言されており、幼児教育においても、幼児が社会生活にかかわり、地域参画への意識の芽生えを育み、将来の社会の一員としての素地を養うことは幼稚園教育要領の改訂に向けての重要な視点であることが示されたと言えよう。京都市は伝統や文化が息づく街であり、それぞれの地域特性を生かした教育実践を積み重ねてきた。今回は京都市立幼稚園2園を研究協力園として、幼稚園教育要領改訂の趣旨を踏まえた標記調査研究に取り組みたい。

これまで京都市では、平成16～17年度に文部科学省の委託を受け、「『自然体験や社会体験活動を通して、幼児が生涯にわたって主体的に生きる力を育む』～『学校評価システム』を活用した地域における公立幼稚園が担う役割についての実践的調査研究～」という研究主題のもと、幼児が地域の方々の力を借りて自然体験や社会体験をすることの意義や学校評価システムを保育の改善に生かす意義等について研究を行い、平成18年度には、京都市立中京もえぎ幼稚園が文部科学省「コミュニティ・スクール推進事業」の研究指定を受け、「園児・保護者・地域・教職員が共に輝き育ち合う幼稚園づくり～学校運営協議会『もえぎティンクル』とともに歩む保育を考える」という研究主題のもと、各プロジェクトの具体的な取組から子どもにもたらす教育的意義を見出すなど、研究を通じた実践に取り組みながらそれぞれの園で地域との連携を進めてきた。

以降も「地域の子どもは地域で育てる」という本市教育理念のもと、各園において地域連携の取組を進め、現在12園で学校運営協議会を設立のうえ実践を重ねており、学校運営協議会を核とした地域との連携は京都市立幼稚園の大きな特徴となっている。地域行事への参加や様々な自然体験、社会体験、伝統文化に触れる体験を学校運営協議会の方々の協力によって実践を重ねてきた。しかし、これまでその実践を見える形でまとめるまでには至っていなかった。地域との連携を生かした保育の実践や幼児の育ちについて京都市立幼稚園の特色でもある学校運営協議会の取組を通して「将来の社会の一員としての素地を養う」視点で問い直し、社会生活とのかかわりにおける新たな意義を見出したいと考えた。

そこで、地域の状況や学校運営協議会の設立年度、園の規模が異なる研究協力園を2園選定し、各園における学校運営協議会を核とした具体的実践を通して、地域と連携した保育の実践や幼児にもたらす教育的効果を検証し、「社会に開かれた教育課程」の編成を視野に入れた成果と課題のとりまとめを行う。

2 調査研究内容

(1) 調査研究の目的

京都市立幼稚園の特色である「学校運営協議会を核とした地域との連携」や、地域と連携した保育の実践や幼児にもたらす教育的効果、指導計画の改善の在り方などを検証し、「社会に開かれた教育課程」の編成を視野に入れた成果と課題のとりまとめを行う。

(2) 調査研究の流れ

①地域の状況や幼稚園の規模等が異なる2園を研究協力園として選定する。

京都市立みつば幼稚園（平成28年5月1日園児数101人）

京都市立みつば幼稚園は、京都市上京区3園を統合し、平成7年に新設された3年保育の幼稚園である。平成16年度にも研究協力園として参画し、平成17年度に学校運営協議会を設立し、学校運営協議会とともに歩んできた幼稚園である。

京都市の幼児教育研究の中心的幼稚園として幼小連携の研究等に取り組んでおり、隣接する小学校とは、学校運営協議会を通じてのつながりも深く、幼稚園設立20周年、学校運営協議会設立10年を節目として、変わりゆく子どもの姿から、地域との連携の教育的意義を問い直し、見直しが必要な取組を明らかにし、新たに改善していく視点での研究に期待できるため研究協力園として選定する。

京都市立深草幼稚園（平成28年5月1日園児数34人）

京都市立深草幼稚園は、京都市の南に位置する伏見区にあり、昭和4年に設立され、創立80年を超える2年保育の幼稚園である。

平成19年度に学校運営協議会が設立され、地道な活動を積み重ねる中で地域との連携に取り組んできており、今までの実践をもとに、学校運営協議会の事業を1回限りのイベントに終わらせず、日々の保育の流れに添って取り入れる方法や子どもの姿から見える地域との連携の教育的意義を問い直す視点での研究に期待できるため、研究協力園として選定する。

②幼児教育に関する有識者、研究協力園2園、学校運営協議会関係者、教育委員会事務局による調査研究実行委員会を設置する。

③調査研究実行委員会では研究全体の方向性について検討・協議するとともに、研究協力園での実践と、委員による園訪問や他都市視察等により幅広い観点から「学校運営協議会を核とした地域との連携」について検証する。

④検証結果については研究報告冊子及びリーフレットにより広く還元し、研究報告会及び講演会により研究内容の理解を深める機会を設ける。

⑤スケジュール

7月14日 本調査研究契約締結

9月 6日 第1回調査研究実行委員会開催

- ・みつば幼稚園・深草幼稚園の概要、学校運営協議会の組織図の確認
- ・研究協力園における、これまでの実践の成果と課題、今年度の実践での園児の事例等の提示
- ・調査研究の概要の提示
- ・委員による指導・助言

9月～2月 委員による研究協力園の訪問

- ・日常の実践、学校運営協議会の取組、園児の様子等を見ての指導助言

3月 1日 第2回調査協力実行委員会開催

- ・研究冊子・リーフレットの作成による成果の確認
- ・研究報告会及び講演会